

令和4年度第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議録

1. 日時 令和4年8月31日（水） 14:00～15:30
2. 場所 瑞浪市役所 4階全員協議会室
3. 出席者 加藤 昇一
林 尚志
堀尾 憲慈（座長）
佐伯 さほり
鈴木 かおり
辻本 紀み子
藤本 敏子
[名簿順、敬称略]
4. 欠席者 小島 博和
渡辺 隆夫
[名簿順、敬称略]
5. 瑞浪市 正村 和英（理事兼総務部長）
6. 事務局 加藤 昇（企画政策課長）
津田 良介（企画政策課企画政策係長）
三浦 啓輔（企画政策課企画政策係）
7. 日程 1. 座長あいさつ
2. 議事
(1) 第1回会議録（案）について
(2) 2次評価について
3. その他

事務局 それでは定刻となりましたので、「令和4年度第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催します。

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。会議の冒頭につきまして、

事務局で進行させていただきます。進行役を務めます瑞浪市役所企画政策課長の加藤です。どうぞよろしくお願いいたします。本会議は、公開することとしておりますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、堀尾座長よりごあいさつ申し上げます。堀尾座長よりよろしくお願いいたします。

座長 1. 座長あいさつ

連合岐阜東濃地域協議会の堀尾でございます。本日はご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。第1回では、「瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要、事業の効果検証について事務局より説明いただきました。さらには、2次評価の6事業について担当課より説明をいただきました。本日は、残り6事業について、前回同様担当課から事業説明を行いますので、活発な意見交換の場となることを期待します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

それでは議事に移ります。以降は、座長に進行させていただきます。

座長 2. 議事

それでは、これより進行役を務めます。

議事1（1）第1回会議録（案）について、事務局より説明願います。

事務局

<第1回会議録（案）について>

企画政策課の津田です。よろしくお願いいたします。

それでは、資料1「令和4年度第1回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議録（案）」をご覧ください。これは、7月20日に開催しました第1回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の会議録（案）であります。本日の審議会にて皆さまのご承認をいただきましたら、ホームページなどで公表させていただくこととなりますので、ご確認をお願いします。

座長

第1回の会議録の確認ということですが、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

参加者

（意見、質問なし）

座長

それでは、第1回の会議録については、これをもって確定とし、公表することとします。続きまして、2（2）2次評価について、事務局より説明願います。

事務局

<2次評価について>

それでは、次に2次評価についてご説明します。前回同様、資料2「事業評価シート」にて、事業担当課から事業の概要説明、1次評価について、順に説明してまいりますので、よろしくお願ひします。

座長

第1回審議会同様、担当課から順に説明してまいります。時間の関係上、同じ課で複数の事業がある場合は、一括して説明をお願いします。その後、まとめて質疑を行いますので、進行のご協力をお願いします。

それでは、最初に、商工課の「市内就職促進事業」、「地域活性化施設等整備基金事業」の2事業について説明をお願いします。

(商工課：市内就職促進事業)

商工課

商工課の三浦と申します。よろしくお願ひいたします。

市内就職促進事業について、事業評価シートに沿って説明します。

当事業は市内の企業を対象にした合同企業説明会の開催、企業ガイドブックを作成し、市内企業への就職促進と職場定着を図るという内容です。しかし、近年のコロナの影響もあり、対面式の合同企業説明会ではなく、令和2年からWeb開催を実施しています。

令和3年4月から12月に市ホームページから外部サイトに移動できるようにし、参加企業43社のWeb合同企業説明会を開催しました。

その期間のアクセス数が1万2930件、1日あたり約50件のアクセスがありました。

制度による雇用者数を指標としていますが、中京高等学校から4名、瑞浪高等学校から8名が就職され、令和3年度の実績は12名です。麗澤瑞浪高等学校につきましては、全員進学ということでしたので、実績はありません。

得られたノウハウはコロナ禍ということで、時間、場所に関係なく、市内企業の情報が発信できるWeb説明会は非常に有効であると思います。

事業効果は12人の増加があったということでAと評価しました。また、事業評価についてもWeb開催に変更したことにより、当初は高校生の方がターゲットでしたが、高校生だけではなく大学生や一般の求職者の方も活用できるようになったこと、また時間も限られることなく24時間対応ができましたので◎と評価しました。今後の方針は継続としています。

(商工課：地域活性化施設等整備基金事業)

地域活性化施設等整備基金事業は、地域を活性化する施設等の整備の資金を充てるため、瑞浪市と民間都市開発推進機構が出資し基金を造成し運用しています。

市の補助だけでなく、民間のクラウドファンディングを活用した事業です。

実績につきましては、令和2年度はありませんでしたが、令和3年度は2件の活用があり

ました。

課題は、周知が充分ではなく、そもそもクラウドファンディングがどのようなものなのか、など活用のイメージが伝わりにくいということです。

それを踏まえ、具体的改善として、クラウドファンディングについて理解を深めるため、Webセミナーを2回実施し、入門編、実践編それぞれ20名に参加していただきました。

事業効果について、2件の実績があったことでAと評価しました。また、事業評価も地域の拠点として、大きな役割を果たす施設が整備されたので◎と評価しました。今後も当事業を継続していきます。以上です。

座長

ありがとうございます。

では2事業について、ご質問ご意見をお願いします。

参加者

市内就職促進事業ですが、実績値が目標を超え79名ということで非常に評価できると思います。瑞浪市外に就職先を求めるのではなく、市内に就職してもらうよう雇用促進をお願いし、人口を増やして欲しいです。コロナ禍ということでWeb開催に変更されましたが、コロナ禍前と比較し件数が増えているので非常に良いと思います。一般の方、大学生の方は、他県から就職された方が多いのか市内の方が就職された方が多いのかどちらでしょうか。

商工課

就職された方の出身地まで市で把握できないので、あくまで市内の高等学校から就職された方を実績値としています。また、実績値が67名から79名に伸びているのは、累計ですので、令和3年度につきましては、12名増加したとご理解いただければと思います。

今回Webで合同企業説明会を開催したことで、今までホームページを持っていなかった市内の企業も参加できるようになり、瑞浪市内にある企業名や仕事内容を周知することができたので、この点においてもメリットがあったと考えています。

座長

ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者

市内就職促進事業について、どの市も当然地元就職して欲しいと思っています。小中学校の児童、生徒が市内の企業を見学することができる制度はありますか。

また、来年度から恵那南高等学校と坂下高等学校が地元の企業に対して理解を深め就職してもらうため、デュアルシステムという1年間、週1回企業で働き、またそれを単位として認めるという取組を始めます。デュアルシステムを企業の方々にご理解いただければ高等学校側もありがたいと思います。地元企業の良さについては、高校生だけでなく小中学校を管轄している教育委員会と連携して事業を実施していただけると良いと思いますがいかがでしょうか。

商工課

小中学校の市内の企業の見学につきましては、各学校が実施している社会見学には個別に対応していますが、市内の小中学校共同で実施するようなことは行っていないので教育委員会と相談したいと思います。また高校生のインターンシップは市役所もご相談があれば、

対応しています。デュアルシステムにつきましては、まだ市にそのような相談はありませんので、もしそういった相談があれば、前向きに検討したいと思います。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 地域活性化施設等整備基金事業について、歴史的建築物の改修や地域を活性化する施設等の整備とありますが、要望は各地域からありますか。

また、制度の周知が充分ではなく、活用のイメージがしづらいとの分析ですが、各地域のまちづくり推進組織等の方々が知っている建築物等を把握するようなことはしていますか。

商工課 歴史的建築物の改修への活用につきまして、基本的には、事業者が建築物を使用し事業を展開するために活用いただく制度です。市が建築物を把握し、制度を活用して建築物の改修を行っていただく制度ではありません。事業者より申請があり、その施設を地域のためにどう活用するかを審査しています。

2つ目の質問に関連しますが、その審査の際、区長会長やまちづくり推進組織等の会長にも参加いただき、地域でどういう事業を展開したいと考えている事業者がいるか、この事業に対し地域としても理解できるかなど評価していただき審査しています。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 地域活性化施設等整備基金事業について、歴史的な建築物の改修、あるいは地域を活性化する建設施設等の整備の資金に充てるということですが、これを採択するときに様々な審査があると思います。採択され実施された結果、それが本当に地域の活性化につながっているかはどのように検証していますか。

商工課 令和3年度に初めて2件採択していますので、今後それらの施設がどのように地域で機能しているかを検証していきます。

実際、大湫地区にあります、国の有形文化財である旧森川善章家住宅（新森）に橋という喫茶店が開かれ、今までその地域で常時食事ができる場所がありませんでしたが、中山道を歩かれる方等がそこで食事をしていただいております。また、その建物自体が歴史的建築物であり、当時の建築を忠実に再現していますので、効果があると考えています。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 両事業の決算額について、市内就職促進事業の場合、令和2年度と比較し令和3年度に決算額が減少しているのにも関わらず実績があるのであれば、コストパフォーマンスが良くなったという認識で良いでしょうか。

また、地域活性化施設等整備基金事業の場合、令和2年度と比較し令和3年度は決算額が増加していますが、600万円の事業費でこれだけの新しい事業が行うことができているの

であれば評価すべきだと思います。こちらもその認識で良いでしょうか。

商工課

まず、市内就職促進事業の令和2年度繰越分につきましては、令和2年度に行う予定だった事業を実際は令和3年度に実施したとさせていただきます。

令和3年度の12万3000円は、本来対面式で実施する予定であった事業が中止となりましたが、その代わりにWebにて周知を行いました。

また、地域活性化施設等整備基金事業の令和2年度の0という決算額については、実際に活用実績がなかったためです。令和3年度の602万円の内訳として、1件は上限の500万円を補助し、もう1件は102万円補助しました。これと同額をクラウドファンディングで集め、事業者が事業を行ったこととなります。

座長

ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者

どの高等学校も新しい学習指導要領の中で、探究活動が非常に注目されています。瑞浪高等学校の場合は、普通科の生徒が地域連携プロジェクトを行っています。一昨年にこの大湫町の旧森川善章家住宅（新森）の探究活動を行い、整備に携わりました。

8地区のまちづくり推進組織の会長が集まる会議にて各地区の地域課題を出していただき、生徒が地域に入って探究活動できるようお願いし、今年度は大湫地区にある面高屋の整備に携わることとなりました。

これからの時代、高校生が地域の活性化に関わる機会が多くなると思います。その点クラウドファンディングを活用しているのは時代に合っていると思います。現在は、市民協働課の域学連携の活動費を活用し、生徒の移送等をしてしていますが、地元の高校生が地域に関わる際に使うことができる予算があるとありがたいです。これは質問ではなくお願いです。

座長

ほかにご質問ご意見をお願いします。質問がなければ私から質問します。

小中学校のときに職場体験や職場見学を行ったことは、児童、生徒の心の中に残っているものだと思います。私の子も中学校のときに職場体験で1日アルバイトのような形で体験していましたが、瑞浪市ではそういった取組はありますか。

商工課

瑞浪市でもあります。中学生が自ら体験場所を選び、市役所や企業に行って体験してもらう取組をしています。

座長

中津川市では「すご技中津川プロジェクト」にて小中学校の児童、生徒に対し、地元にはあまり知られていないけれどすごい会社があるというアピールを市として行い、企業と小中学校を結ぶような事業がありますが瑞浪市はこのような事業はありますか。

商工課

瑞浪市としまして、9月から1階ロビーにて企業による展示をするスペースを設けます。今回は瑞浪市が誇る企業であるフェスティカサーキットという企業の展示を行います。釜戸町の竜吟湖付近でゴーカートに乗ることができる日本でも設備の整ったサーキット場を運

営しています。約1か月間、その企業がどういった事業を行っているのかを市民にPRする取組をしています。

座長

他に意見はよろしいでしょうか。

それでは、商工課の皆さんありがとうございました。

次に農林課の農産物等直売所規模拡大整備事業の説明をお願いします。

(農林課：農産物等直売所規模拡大整備事業)

農林課

農林課の市原と加藤です。どうぞよろしく申し上げます。

それでは農産物等直売所規模拡大整備事業について説明します。

きなあつた瑞浪として知られる農産物等直売所の規模を拡大し整備することで、農畜産業の振興、直売所経営の安定化、地域活性化の推進、当施設の衛生管理の適正化を図ることを目的としています。

令和元年度には、瑞浪ポーノポークのハムやソーセージなどの加工品を製造販売するポーノポークハム工房“瑞浪”を整備、そして令和2年度には、農産物等直売所内のミートスライサーの増設など、精肉処理機能の強化、また新たな衛生管理基準HACCPへの取組が可能となるよう、施設を改修して販売力の強化を図っています。

実施状況としましては、令和3年度は農産物等直売所北側において、令和5年度から供用開始予定のバーベキュー施設の用地を取得するとともに、同施設の詳細設計を行っております。

実績値の分析として、令和2年度との比較で売上高は840万円の増額であります。同施設への来場者数は減少しています。売上げ目標を達成するには、さらなる来場者数の増加を図る必要があります。直売所北側のバーベキュー施設を整備することで、施設の魅力を向上し、瑞浪ポーノポークの精肉加工品などの地元農畜産物の消費拡大につなげていきます。

KPIは、農産物等直売所、ハム工房“瑞浪”における瑞浪ポーノポークの精肉、ハム、ソーセージの年間売上高です。売上高の大幅増とはならなかったものの、事業効果としてはCと評価し、事業評価としては◎と評価しています。以上です。

座長

ありがとうございます。

では、ご質問ご意見をお願いします。

参加者

バーベキュー場施設ができることは、他地域で整備されているのをテレビなどでよく聞くので、一市民として手ぶらでバーベキューが楽しめる場所ができることは、非常に楽しみで嬉しく完成したら是非行きたいと思っています。

ポーノポークについて、農産物等直売所ができた頃に御富町のスーパーでも売られていたのですが、現在加工品も販売網が広がっていますか。

また、福井県や北海道などカニが獲れるところは、給食で子どもたちにカニが提供されているのをよくテレビなどで見聞きますので、幼少の頃から地元の特産品を子どもたちに給

食で提供することは、将来の投資として良いと思います。ポーノポークを提供しているとは思いますがウインナーやハムなどの加工品を給食で提供していますか。

農林課 御嵩町のスーパーで販売していたことは把握しておりませんでした。令和2年にポーノポークハム工房“瑞浪”がオープンしたことを機に、加工したハムやウインナーの販売を広げている状況です。

給食については、食育として給食だよりなどでこのウインナーは地元の瑞浪ポーノポークの肉を加工し作ったものです、など広報しています。令和2年度はウインナー年に2回給食にて提供しています。

ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 得られたノウハウに売り上げを伸ばすため、インターネット販売等を強化していく必要があると記載がありますが、何か方策がありますか。

農林課 例えば市街地など都会へ出てイベントを行って認知度を上げるということを行ってきませんでした。来年度にかけてインターネットやSNSを活用し、認知度を上げるような政策を鋭意行っている状況です。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 2点あります。
1点目は、バーベキュー場施設が出来て、果たしてそのバーベキューをした人が、お腹いっぱい状態で肉を購入されるのかと思います。バーベキューをするときに肉をセット販売しますか。

2点目はインターネットで販売という話がありましたが、SNSなどを見てどれだけいいな、と思っても私は大手インターネット通販サイトで検索して購入できる状態であれば、すぐ購入します。農産物等直売所のホームページをよく見ていますが、そういったことができません。大手インターネット通販サイトで検索すると恐らく農産物等直売所で加工していない他社の加工品が出品されていますので、インターネットによりPRは出来たとしても買手は、安いところを買おうと思ってしまうので、農産物等直売所でインターネット販売される状態になれば良いと思いました。

農林課 1点目の質問について、バーベキュー場を利用した方に対して割引クーポンなどを渡すということを現在、市と指定管理者とどう運営をするか協議をしています。そういったご意見を伺いながら、運用方法を定めていきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

セットの内容ですが、バーベキュー場では瑞浪ポーノポークのお肉をセットメニューにし、それをメインで販売していくこととしています。もし食べていただけておいしいと感じていただければ、お土産で買っていただけたらと思いますし、また訪れていただけたらと思って

います。

また、2点目について、大手インターネット通販サイトは手数料が大幅にかかってしまうという問題もあり、現在そういった通販サイトに出品するのか自社サイトで運用していくのかを指定管理者と協議をしています。

専門家等の意見を伺う中で、自社サイトで運営することで20～30%の引き合いはあるという話でしたので、大手インターネット通販サイトを使用するのではなく、自社サイトで当面の間は運営していこうと考えています。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 売上げを何とか上げたい、PRをしたいということであれば、例えば岐阜農林高等学校が、マクワウリのアイスクリームを開発し販売しています。いわゆる商品開発という観点で、高等学校や大学との商品開発は考えられていますか。3年前に農産物等直売所から商品開発の提案をいただきましたが、学校のカリキュラムは年度が始まるとすべて決まっているので変更ができず実施できませんでした。もしそういった話があれば、年内に声をかけてもらえるとうれしいです。

農林課 ハム工房がオープンする際、ハムやソーセージのメニューなど店内の飲食物について、学生の意見を伺いながら一緒に商品開発をしていきたいと考えていました。

実際、高等学校や大学へ商品開発のお願いをしたいと話しましたが、コロナ禍ということもありカリキュラムを組むことが困難であるご回答をいただきました。

私どもがお話しするタイミングが悪かったのかもしれませんが、今後コロナが終息した暁には、商品開発等を学生と一緒にやりたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

コロナ前は、プリンやジェラートなどを学生と一緒に商品開発をしています。

座長 他に意見はよろしいでしょうか。

それでは、農林課の皆さんありがとうございました。

次に環境課のエネルギー利用最適化事業の説明をお願いします。

(環境課：エネルギー利用最適化事業)

環境課 環境課の山内と寺社下です。よろしくをお願いします。

それでは、初めに事業の概要を説明します。

本事業は、地球温暖化対策の推進のため、市民生活における再生可能エネルギーの利用を促進するものです。補助の内容は、既に太陽光発電を設置している方が、蓄電池システムを設置する場合に最大で10万円、新規に太陽光発電と蓄電池を同時に設置する場合は、最大で16万円を補助します。また、次世代自動車充電システムについても補助を行っています。

太陽光で発電した電力を、蓄電システムや電気自動車に蓄え、自家消費が図られ、災害時の電源確保の面で効果があります。本事業は、地球環境に優しく、快適な暮らしを支援して

いるものです。

KPIについて、この制度による補助件数として30件を目標としていますが、令和2年度は47件、令和3年度は57件と着実に補助件数が伸びてきています。以上です。

座長 ありがとうございます。
では、ご質問ご意見をお願いします。

参加者 太陽光発電システムは、屋根の上に設置されたものですか。それとも土地の直に設置されたものですか。

また、新築時に設置される方と、そうでない方の割合はどのようなようですか。現在は2世帯以上で住んでいる世帯は多くないと思います。我が家も主人と2人で残す人生そこまで長くないのでこの投資について、お得感がないと思っています。新しく家を建てるときに、同時に設置した方がお得だと思いますが、この事業の推進は市で何か広報されていますか。

環境課 住宅の屋根置きを基本にしています。
太陽光発電システムと蓄電池をセットで設置する場合は、新築がほとんどです。既存で太陽光発電システムがあり自家消費を増やすため、蓄電池を設置されることも多いです。
この事業のPRについては、広報みずなみの8月号に併せ、回覧するなど普及に努めています。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 自治体排出カルテにおいて瑞浪市の世帯に対するFIT太陽光導入日導入比8.3%が多いのか少ないのかがわからないので他地域の情報がわかれば教えていただきたいです。

また、この事業は国の方針に則り市も導入を進めていくということだと思いますが、最近になり太陽光発電による様々な問題が聞こえてきます。パネルの廃棄に係る問題について今後、市として何かやらなければならないことも出てくると思いますが、現状として何か情報としてあれば教えていただければと思います。

環境課 瑞浪市における再生可能エネルギーについて、水力や風力による発電が皆無で、ほとんどが太陽光発電です。再生可能エネルギーによる発電が総電力に占める割合の25%で、瑞浪市は東濃地域と比較して高いですが、その25%のうちの大体1割ぐらいしか、家庭の屋根で発電されていません。まだ、この家庭の屋根を利用したシステムの導入に余地があると思います。

廃棄については、市でも情報を持っていません。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 年々補助件数が増えていますが、例えば申請数が70件とかでも、審査して判定するのか

全て補助するのどちらになりますか。

環境課 この補助制度は、限られた予算の枠内で補助を行います。令和3年度は500万円という予算があり47件補助し、何とか予算内に収まりました。次年度も500万円の予算の中で補助をしていきますが、岐阜県が太陽光発電について、補助制度を設けましたので瑞浪市が補助している内容と異なりますが、県の制度も併せて二本立てで進めていきます。

座長 今説明について確認ですが、例えば年度途中で予算の500万を超えてしまった場合、その後に申請をした場合、補助してもらえないということで良いでしょうか。

環境課 その認識のとおりです。

座長 承知しました。
ほかにご質問ご意見をお願いします。よろしいでしょうか。
それでは、環境課の皆さんありがとうございました。
次に生活安全課の防災訓練実施事業の説明をお願いします。

(生活安全課：防災訓練実施事業)

生活安全課 生活安全課の課長の工藤と担当の安江です。
防災訓練実施事業について、説明します。
防災訓練実施事業は、防災訓練の指導及び支援を行い、市民の防災意識の向上に努め、地域の防災力の向上を図る事業です。またボランティア団体である、みずなみ防災会に交付金を交付し、地域における防災訓練の実施の促進を図ります。

KPIは、防災訓練の実施率としています。目標数値100%に対して、令和元年度に実施しました市の総合防災訓練で、全ての自治会が参加したため100%達成したものとしています。

実績値の分析について、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練が減少傾向となっていましたが、その対策として少人数かつ短時間で実施できる防災講話を中心とした活動に切替えています。

問題課題について、自分の命は自分で守るという自助の考え方、情報収集と早めの避難についてより市民に浸透させることです。

事業効果は、みずなみ防災会が訓練の中心となり積極的に活動いただき、また、継続的に訓練が実施されているということからAと評価しています。

事業評価は、KPI値を達成したということで◎と評価し、今後の方針は継続としています。本日お配りした資料は、昨年の実施結果についてという資料と防災訓練の際に配布している防災ガイドブックという冊子です。以上です。

座長 ありがとうございます。
では、ご質問ご意見をお願いします。

参加者 私は土岐地区ですが、コロナ禍で身体を使つての防災訓練が出来なくて非常に残念だと思います。この資料にありますように、「学ぼうさい」を開催したとなつていいです。小さい単位ではありますが、これで防災訓練ができたということになりますが、非常時のときに地域の方々と助け合うためには顔を知るためのコミュニケーションが必要だと思います。

コロナ前に土岐地区は防災運動会を開催し、たくさんの方が参加していたので、コロナが終息すればまた再開して欲しいと思います。

瑞浪市は防災リーダーを育成されていると思いますが、他県等では退職された気象庁の職員などといった専門家が、自治体のニーズに適した防災をサポートする気象防災アドバイザーという方がいると新聞で目にしました。瑞浪市にも気象防災アドバイザーはいますか。

生活安全課 気象防災アドバイザーについて、ここ数年でそのような制度ができて、例えば瑞浪市に常勤していただくこともできるのですが、1人雇うということは現状難しいです。現在、検討している中で、岐阜県で気象庁のOBが気象情報アドバイザーとしていらっしゃると聞いています。何かあればそちらに相談したいと思いますし、また岐阜県地方気象台でも様々な防災の講演会に対応しているとのことで、今年、瑞浪市役所の幹部を対象にし気象の講習を実施しました。

また今お話しいただいた各地区の防災の事情については、まちづくり推進組織の事業の中で防災事業を実施されるケースもあります。訓練ばかりではありませんが、そういった活動を市で支援できるところは支援していきたいと思っています。

防災リーダーについて、今秋も防災リーダー養成講座を実施します。昨年まで271名に瑞浪市防災リーダーの講習を受講していただいています。

その卒業生の中から何名か、みずなみ防災会というボランティア団体に加入していただいています。地域の防災につなげていければと思います。事業を進めています。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 本校としても防災士養成講座を開いていただき、生徒の中にも何人か防災士が生まれました。是非これからも続けていきたいと思っています。

また、コロナということで防災というと一つの場所に集まってしまう傾向があると感じています。今後も様々なイベントで防災のことを学ぶ機会があると思いますが、コロナ禍での防災をまた教えてもらいたいと思っています。

生活安全課 毎年、麗澤瑞浪高等学校には訓練に協力いただいています。ありがとうございます。

毎年お願いしていますが、今年は防災リーダー養成講座にも参加いただけるとありがたいと思ひ少し紹介したいと思います。

コロナ禍での訓練ということで、密にならないよう工夫し実施していますが、当然避難所でもコロナの感染者の方や濃厚接触者の方がいらっしゃる可能性がありますので、その対応についても常に瑞浪市で考えながら準備していますので、よろしくをお願いします。

- 座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。
- 参加者 よく福祉施設が水害に遭っていますが、危機管理的に福祉施設での防災訓練について、生活安全課はどのように関わっていますか。
- 生活安全課 福祉施設の訓練につきまして、避難行動要支援者に該当する方が入所している施設については、避難確保計画という計画を施設ごとに立てていただいています。
 その中で、避難訓練等について記載がありますので、それに基づいた避難訓練等を実施していただいています。
 瑞浪市において避難確保計画が必要な施設において全施設で計画があります。また新しい施設ができれば、順次作成していただきます。
- 座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。
 私からよろしいでしょうか。
 防災リーダー養成講座と防災士養成講座は同じではないということでしょうか。
- 生活安全課 生活安全課の安江です。
 日本防災士機構にて、防災士の資格を取るための講座のカリキュラムがある程度示されています。瑞浪市の防災リーダー養成講座は、そのカリキュラムに準じた講座ですので、瑞浪市の講座に関しては同じですので、瑞浪市の防災リーダー養成講座を受けられた方は、防災士になるための講座を受けられたということになります。
- 座長 瑞浪市の市議会議員で、防災士の資格を持っている方は何名いるかご存知ですか。
- 生活安全課 みずなみ防災会に参加していただいている議員もいますが、その方が資格を持った状態で入っているかを把握できていません。昨年度の防災リーダー養成講座を受講された市議会議員は、防災士の資格を取得したと聞いています。
- 座長 多治見市は0名です。隣の土岐市は約3分の2以上の市議会議員が防災士の資格を持っています。市議会議員だから持っていないといけないわけではありませんが、地域の代表として市議会議員をやっている方が多いですので、災害の場面を含め、中心となることが多いと思います。そういった方が防災士の資格を持っているのと持っていないのでは状況が変わると思いますので、市議会議員にこういった講座があることを周知してもらえると良いと思います。
- 生活安全課 議員に対して毎年防災リーダー養成講座の案内を出しています。また、募集期間が9月議会と重なりますので、もし議案の説明の中で防災リーダーの話が出てきたときには、防災リーダーの養成講座があると周知を行っています。今後も継続して市議会議員へ周知を図りたい

いと思います。

座長 市議会議員だけではなく、市の職員にもできる限り取得いただきたいと思います。いざ、というときは、市の職員が中心となって避難所を仕切っていただくことになると思います。また、災害時に防災リーダーが多くいると頼りになると思います。一般市民の方にも防災士の資格を取っていただいて、資格を持っている方が避難所に行ったとき、先頭に立って行動できるような意識を植付けていただくということも必要だと思います。一般の方が資格を取得するために市として補助はありますか。

生活安全課 補助といえますか、通常、防災士の資格を取得する講座は民間企業で行ってまして、受講すると3、4万円くらいお金がかかります。瑞浪市が行う場合は、テキスト代の3,500円と試験代の8,000円を合わせて1万1,500円ですので、費用を抑えて受講していただくことができます。

また各地区のまちづくり推進組織や区長会で助成している地区もあります。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。よろしいでしょうか。
それでは、生活安全課の皆さんありがとうございました。
最後に企画政策課の地域懇談会・市民アンケート実施事業の説明をお願いします。

(企画政策課：地域懇談会・市民アンケート実施事業)

企画政策課 この事業についてご説明します。
市の施策や方針に対する市民の意見や要望、評価を把握するため、毎年各地区との地域懇談会、市長と語る会を開催しています。

令和3年度は、地域懇談会等を17回開催し、436名の方に参加していただきました。また、第6次瑞浪市総合計画の進捗状況を確認するため、18歳以上の市民の中から無作為抽出により、1000人を対象とした市民アンケートを実施しています。この事業では、主に市民アンケートを中心に説明します。

KPIは市民アンケートの回収率とし、過去の実績に基づき目標値を45%と設定しています。令和3年度の回収率は、平成30年度の策定時の35.7%よりは上昇していますが、44.5%と目標値を達成するには至りませんでした。近年、回収率は横ばいが続いています。令和4年度からはアンケート回収率の向上を目指す取組として、インターネットでも回答できるように改善を図りました。

こうした実績から、事業効果をB、事業評価を◎と評価しています。

本事業を継続するとともに多様化する市民ニーズの把握に努め、ニーズに対応したまちづくりを推進していきたいと考えています。以上です。

座長 ありがとうございます。
では、ご質問ご意見をお願いします。

参加者 このアンケート回収率の目標が45%という数字は妥当でしょうか。この回収率で幸福度が測れるのか疑問に思いました。回収率を上げることは大変だと思いますが、もう少し回収率が高くなると良いと思いました。

私もこのアンケートが定かではありませんが2回ほど回答したことがあります。その時にたくさん質問に答えなければならないというのと、私1人くらい答えなくてもいいかと思っただ記憶があります。

企画政策課 統計上、母集団から望ましいと言われている標本誤差を使えば、ある程度結果は変わりません。45%は実績に基づいて瑞浪市が設定しているだけですが、他市の状況を、お知らせします。毎年実施している市もあれば不定期で実施しているところもありますので、直近の実績を申し上げます。多治見市が令和2年度に48.6%、土岐市が令和3年度に43.8%、恵那市が令和3年度に63%、中津川市が令和2年度に60%ということで、瑞浪市は低い分類ではありますが極端に低いわけではありません。統計上、一定数の意見で傾向を把握することができますので、低い数値であっても有効であると考えています。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 1000人の対象者をどのように選定していますか。また、回答があった方たちの年齢層を把握していますか。

企画政策課 まず、1000人の抽出方法について、世帯毎に世帯番号という番号が振られています。その世帯番号から1000人となるよう機械的に抽出をかけます。18歳以上から1000人より少し多く抽出し、実際にアンケートを送付する際に、転出や死亡されてる方を除きます。例えば、回答者を均等にするため10代の方に何人、20代の方に何人という抽出ではなく、無作為抽出を実施しています。

年齢層については60代以上の割合が、ほぼ半数を占めています。80歳以上を除き年齢が高くなるにつれ回収率が良く、若年層の回収率が悪いという実態がありましたので、その改善を図るため令和4年度からウェブを併用したアンケート方法に切替えました。

座長 ほかにご質問ご意見をお願いします。

参加者 インターネットを併用したアンケート方法に切替えたとのことですが、インターネットでの回答と書面での回答の割合はどのくらいでしょうか。また、先ほど恵那市や中津川市の回収率が非常に高いという話でしたが、純粋に同じ方法で実施すれば同じぐらいの回収率になるのかなと思いました。実施方法を同じにしていかがでしょうか。

企画政策課 令和4年度のアンケートについて、整理がまだ完了していませんが1000件のうち、回収率が46.8%で60件程度がインターネット、それ以外が書面での回答でした。

他市の状況と比較すると他市もインターネットを併用しているところが多数で、またそのような自治体の回収率は高いです。基本的に手法は、同じだと思いますが、そこに住まわれている方の意識や、アンケート内容が簡素化されているのかなどの違いはあるかもしれませんが、回収率が高い自治体を参考にし、今後見直しを図りたいと思います。

事務局

先ほどからアンケートの回収率が話題となっていますが、ただ高ければ良いのかという統計的には良くありません。何か意図が働いているのではないかと、母集団から選ばれた数字が本当に母集団の全体を表すのにふさわしいものか選ばれているのか怪しくなります。

60%前後の回収率が一般的だと思います。あまり高いと強制されたのではないかととなり、それが正しい統計とはみなされないので、高ければ高いほど良いということではありません。統計的に、きちんと母集団を表す程度に有効な回収率であって、そこを分析する必要があります。

先ほどお話にありましたが、全体数として高齢者の方が多くいらっしゃるので高齢者のほうが回収率の割合が高いです。ただし、その割合を考慮し市全体で回収された人たちの意見をどう重視していくかというのは、政治的もしくは行政側の判断になると思います。

少し違う話になりますが、投票をすれば、同じ投票率だったとしても、投票数は若い人たちの投票数は少なくなります。そこから代表されてきた人たちの意見をどう反映していくかなどを加味しながら、行政として世の中の先を見据えて、どういう政策をしていくのが良いかを判断しなければならないと思っています。

あくまで、このアンケートをしっかりと冷静に公平に実施し、瑞浪市全体の意見として集約されるにふさわしいものが出来ているのかどうかということだけはしっかり見ていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

座長

あまり数が多くても統計上良くないと思いました。無理矢理、回答をしていないかというところもあるので、大体50%前後が良い数字ではないかと思いました。

ほかにご質問ご意見はありますか。

それではこれで6事業の説明に対するご意見ご質問を終了しますが、全体を通して、ご意見、ご質問がありますか。良いですか。ありがとうございます。

それでは先ほどの担当課からの説明をもとに2次評価を行っていただきます。提出方法や期限については、後ほど事務局から説明がありますので、よろしくお願いいたします。

ではこれもちまして議事を終了します。以後の進行を事務局に返します。

事務局

議事進行ありがとうございました。

それではその他ということで、改めて評価について説明させていただきます。

2次評価については、第1回と同様、資料2の事業評価シートに記載いただければと思います。後ほどデータが必要な方にはデータを送付しますのでそちらで対応いただいても結構です。

本日評価した6事業につきまして、9月22日の木曜日までに企画政策課まで提出いただきますようよろしくお願いいたします。提出いただきましたら、内容を事務局で集約し、9月末

の第3回の会議にて皆様に確認していただく予定としています。

当初のスケジュールで説明をしているとおり、第3回の会議は書面開催としますので、郵送でやりとりをします。来庁していただく必要はありませんのでよろしく申し上げます。以上です。

事務局

改めまして慎重審議、貴重なご意見等をいただきましてありがとうございました。

第2回ということで全事業を皆様にご説明し、ご意見をいただくことができれば1番良いのですが、時間の関係上この計画期間中にすべての事業を評価していただけるようにしていきます。

現在進行中の第6次瑞浪市総合計画が令和5年度で終了します。第7次瑞浪市総合計画に向けた取組を今年度から集中的に行っていき、各地区のまちづくり推進組織や区長会のご協力のもと、ワークショップを開催しております。市民アンケートは、18歳以上の方を限定し行っていますが、今回、第7次瑞浪市総合計画の策定ということで、小中学生にアンケートの実施や市内の高等学校にご協力いただき、学生ワークショップを何度か開催をしました。

市民のニーズを反映して事業を展開し、瑞浪市が次世代につながっていけば良いと考えています。

ただいま説明したように第3回は残念ではありますが対面ではなく書面での開催となりますので、どうぞよろしく申し上げます。今日、委員の皆様とお会いできるのは最後となりますので、短い期間でしたが、どうもありがとうございました。

報酬につきましては、後日まとめて支払いさせていただきますので、よろしく申し上げます。

座長につきましては、座長と事務局でまとめた意見書を市長へ直接提出していただきますので、その際はよろしく申し上げます。

それでは以上をもちまして第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を閉会します。どうもありがとうございました。